

ガッツアイ

プログラムの概要・ねらい

拾った小枝に、様々な色の毛糸を巻いていく。ネイティブアメリカンのお守りとして使われていたガッツアイ (GOD'S EYE) は、神様の目という意味。色使いや装飾によって、一人一人の個性と主張が表現できる。ハイキングやオリエンテーリングと組み合わせることもできる。

場所	団体：クラフト室、実習室 家族：サービスセンター前		
時間	1時間～1時間30分		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	各部屋 席数 48
準備物	【利用者】木の枝2本（割り箸でも可）、救急用品 活動に適した服装 団体：ぞうきん 【自然の家】材料（毛糸3本、ビーズ4個）、ハサミ		

①準備

団体：材料と鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
家族：材料をサービスセンター受付にて購入し、備品を受け取る。新聞紙を机の上に敷く

②実施の流れ

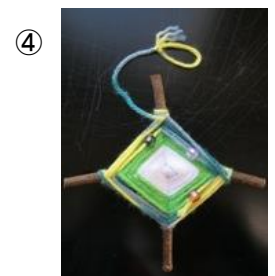
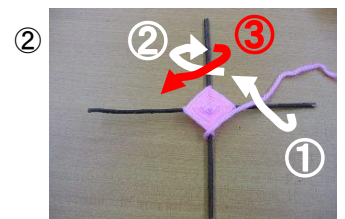
【時間】

- 0:00 説明
- 0:05 屋外に出て、使用する枝を探す。長さは20cm程度で、しっかりとした固さがあり、鉛筆より少し細い枝がよい。
- 0:20 枝を十字型にして、その中央を毛糸で結び、固定する。(写真①)

枝の一箇所に毛糸を一周巻き付ける。巻き付けた後、右（又は左）の枝にまっすぐひき伸ばし、次の箇所に同じように毛糸を一周させる。同じ動作を4箇所行う。毛糸をピンと張った方が綺麗に仕上がる。(写真②)

途中で毛糸の色を変える時は、変えたい部分で違う色の毛糸を結び、同じ動作を繰り返し行う。(写真③)

好きな所で、毛糸にビーズを通す。
最後に壁などに掛けられるように、毛糸を長く取り、完成。(写真④)



- 0:50 片付け
- 1:00 終了

※ハイキングやオリエンテーリング時に採集しておいてもよい。
※プログラムで他団体が使用している施設には、入らないように指導する。
※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底する。(別紙 注意が必要な動植物参照)

応用 木の枝を増やして、3本で六角形、4本で八角形にすることもできる。

③後片付け

団体：ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。(掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照)
工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。
鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。
家族：机の上をきれいにし、借りた備品をサービスセンター受付に返却する。